

地球温暖化について

バイオマスの実現に向けて

長野県長野工業高等学校

清水朔太郎 高野洸希

テーマ設定の理由

- ▶ 地球温暖化の現状を知り、それを阻止するためにはどうすればよいかを調べてバイオマスを追及したいと考えたため。

定義

バイオマスとは生物資源（B I O）と量（M A S S）を表す。

太陽エネルギーを使って水と二酸化炭素から生物が光合成によって生成した有機物であり、私たちのライフサイクルの中で生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生可能な資源のこと。

現状

1880年から2012年までに世界の平均気温は、 0.85°C 上昇している。例えば温水域のサンゴ礁は 1.5°C で70~90%が 2°C で99%が失われると予想されている。

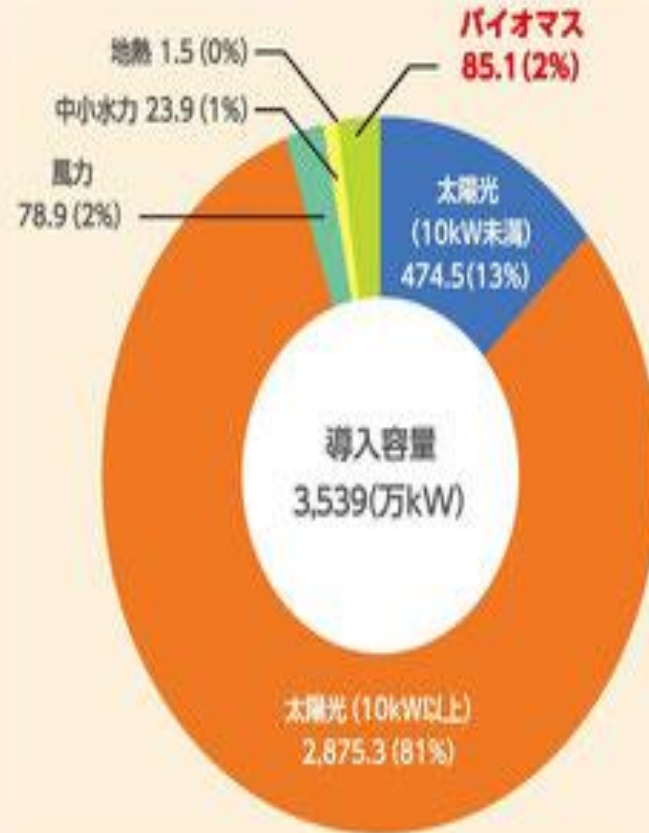
また、

2017年の時点では日本の資源構成においてバイオマスは全体の2.1%に留まっている。

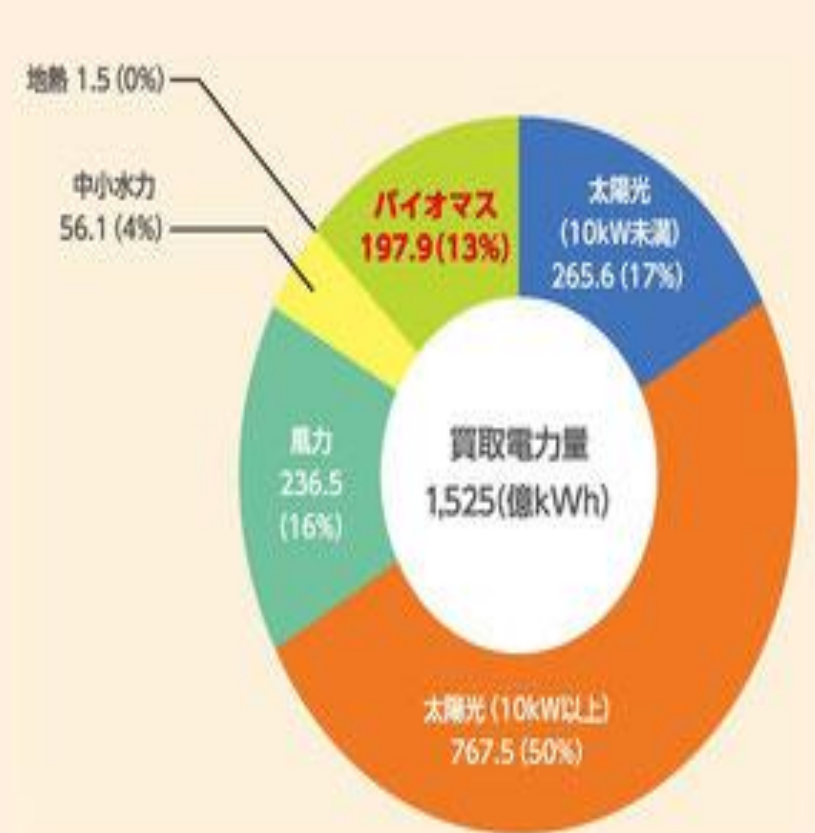
▶ 日本の発電の割合

バイオマスの普及率は全体の2%しか占めていません。

導入容量(新規認定分)



買取電力量(実績)



典: 資源エネルギー庁公表資料より (平成29年3月末時点)

問題点

バイオマス発電はコストが高いことや、バイオマス資源の収集や運搬、更に利用されるまでの管理をしなければならぬという問題がある。

課題

みんなにバイオマス発電について理解してもらい知ってもらおうこと。
また、地球温暖化防止のためにバイオマス発電を普及させていくこと。

SDGsの実現に向けて ～10代からの提言～

地球温暖化が加速していつている。
その対策としてバイオマス発電も積極的に
行ってほしい。

考察・感想

今回は、地球温暖化とバイオマス発電をテーマにして調べた。地球温暖化の現状やバイオマスについてのことを深く知ることができた。バイオマス発電のことを知ってもらおうことや、理解してもらおうことが大切だと感じた。